

平成30年度 経営改善計画ヒアリング 計画・取組状況とヒアリング時の特記事項 <就職活動の支援>

今後の計画（3年間）	30年度の具体的取り組み・タイムスケジュール	ヒアリング時の特記
<p>&lt;学生課キャリアセンター&gt; 委員会活動 1. 就職専門委員会活動 1) 就職専門委員会実施 2) 2019～2021年度 12月企業研究セミナー 3) 2019～2021年度 2月企業研究セミナー</p> <p>学生支援 2. 学生支援 1) 企業研究・仕事研究セミナー（2回実施 無料バス運行） 2) 福岡合同企業説明会への支援 3年生対象 4回バス運行 3) 公務員・教員志望者ガイダンス集中講座 4) 就活メークアップセミナー 3年生女子学生対象 5) 4年生対象入社前準備セミナー 6) 九州地場優良求人説明会 2回実施 7) 内定獲得のための就活応援講座 2回実施 8) 低学年向けキャリアガイダンス</p> <p>（平成31年度） ◆1、2年生の低学年からキャリアガイダンスの導入（～32年度） 前年度計画を発展的に改革踏襲 ◆県内企業を積極的に訪問による、インターシッの受け入れや求人募集の情報収集（～33年度） 前年度計画を発展的に改革踏襲 ◆ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）を含む、多様なインターンシップ制度の検討</p> <p>（平成32年度） ◆キャリア教育の必須科目への組み込み（～32年度） ◆多様なインターシッの受け入れ先の開拓（～33年度）</p> <p>（平成33年度） ◆キャリア教育の必須科目への積極的組み込み（～33年度） ◆キャリア教育、多様なインターンシップ導入の効果検証と改善（～33年度）</p> <p>【キャリア支援】 （平成29年度の自己評価） ◆29年度の取組は概ね達成</p> <p>（平成29年度の改善策等） ◆県内企業の開拓を行い県内就職率の向上を高めるとともに、地元の大学として「企業人講座」などの企業研究講座を開催し、企業との関連を構築し学生との適切なマッチングを図る。 ◆今後はさらに、低学年からキャリアガイダンスの充実を行い、企業(社会)から求められる人材を有する学生の指導に力をいれていく。 ◆正課の「インターンシップ」に加えて企業訪問型の「ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）」の実施で業界および仕事研究を充実させて、就職後の離職対策にも充てていく。</p>	<p>&lt;学生課キャリアセンター&gt; 1. 就職専門委員会活動 1) 就職専門委員会実施 2) 2018年度 12月企業研究セミナー 3) 2018年度 2月企業研究セミナー</p> <p>2. 学生支援 1) 企業研究・しごと研究セミナー（2回実施 無料バス運行） 2) 福岡合同企業説明会への支援 3年生対象 4回バス運行 3) 公務員・教員志望者ガイダンス集中講座 2018/8/9（教員志望）、2018/9/14（公務員志望） 4) 就活メークアップセミナー 3年生女子学生対象 5) 4年生対象入社前準備セミナー 6) 九州地場優良求人説明会 2回実施 7) 内定獲得のための就活応援講座 2回実施 8) 低学年向けキャリアガイダンス</p> <p>（平成30年度） ◆1、2年生の低学年からキャリアガイダンスの導入（～32年度） 実績及び計画 ・工学部 キャリアガイダンス講座実施（前期・後期各1回） ・総合情報学部 キャリガイダンス講座実績（前後期で3～4回） ◆県内企業を積極的に訪問による、インターシッの受け入れや求人募集の情報収集（～32年度） 実績及び計画 ・インターンシップ協議会のほか、大学独自の企業リスト作成で学生希望に対応。（県内企業約80社） ・インターンシップでの実施内容計画を企業に作成依頼し充実を図る。 ◆ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）を含む、多様なインターンシップ制度の検討 ◆キャリア教育の必須科目への組み込み（～32年度） 実績及び計画 ・工学部 キャリアガイダンス講座実施（工学フォーラム他）（前期・後期各1回） ・総合情報学部 キャリガイダンス講座実施（総合情報ゼミ）（前後期で3～4回）</p>	<p>&lt;学生課キャリアセンター&gt;</p> <p>・教員、公務員は近年減っている ダブルスクール 3～4名 ・インターンシップ 30～40名</p>

コース等の取組		
<p>&lt;船舶&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆船舶では学年担当制を採用して木目細かい指導を行っており、4年では学年担当が卒業担当教員と協力して、内定率100%を達成しているが、今後も維持する。</li> <li>◆教員が学生の特性等を書いたA4:1枚の推薦書、または、調査書を付ける。</li> <li>◆船舶独自で、就職試験の模擬試験を実施する。</li> </ul>	<p>&lt;船舶&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆企業の理解を深めるために、インターンシップや実習に行くことを強く勧める。</li> <li>◆独自の企業説明会を実施する。</li> </ul>	<p>&lt;船舶&gt;</p>
<p>&lt;建築&gt;</p> <p>(平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆きめ細かな就職活動の支援</li> </ul> <p>(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆きめ細やかな就職活動の支援</li> </ul> <p>(平成32年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆きめ細かな就職活動の支援</li> </ul>	<p>&lt;建築&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆4年生に対する就職活動の支援(4月～) <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職委員が4年生全員にヒアリングを実施し、マッチングする企業の訪問時には学生を同席</li> <li>・就職委員と研究室の教員が情報を共有化して連携して支援</li> <li>・7/20時点で4年生18名のうち、公務員志望等の未定者4名を除いて内定済</li> </ul> </li> <li>◆3年生に対する就職活動の支援(後期) <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究室の教員がゼミ生の就職活動をきめ細かく支援</li> </ul> </li> <li>◆女子学生の就職先の開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・営業関係、公務員等の他に、施工管理(インターンシップ情報含む)も女子学生に紹介</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt;建築&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職好調</li> <li>・建築力の引上げ。3～4年生、専門性増強</li> <li>・1～2年生「学力」どう育てるか課題</li> <li>・必修の科目に出てこない</li> <li>・留年してもしょうがない「学士力」をつける</li> </ul>
<p>&lt;電気&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆電気電子工学コース、過去からずっとほぼ100%の就職率を維持しており、就職先の質も高い(派遣業はほぼ無い)。これを引き続き維持する。これは本コースの伝統をよく知り、理解してくれている企業が多く、OBも多数活躍しているためである。</li> </ul>	<p>&lt;電気&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターンシップへの積極的な参加の呼びかけ・卒業生の講話・企業見学会・履歴書の徹底指導を引き続き行っていく。</li> </ul>	<p>&lt;電気&gt;</p>
<p>&lt;医療&gt;</p>	<p>&lt;医療&gt;</p>	<p>&lt;医療&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院と企業の初任給や昇給差が開いていく</li> <li>・東京でも就職が減っている</li> <li>・意図しない病院への就職あり</li> </ul>